

まえさわ



優勝した野球部とバドミントン男子

前中野球部が県大会初制覇
県中総体で前沢中が大活躍

7月18日～21日に県内各地で行われた、第56回県中学校総合体育大会に出場した前沢中学校の野球部とバドミントン男子（団体と個人の部）が優勝の栄誉に輝きました。栄冠を勝ち取ったのは、野球とバドミントン男子団体・男子個人ダブルスの安部博紀・吉田達彦組です。野球部は初、バドミントン男子団体は4年連続の優勝を果たしました。そのほかソフトボールが3位に入賞したほか、バレーボール女子、バドミントン女子、柔道、剣道、陸上競技で上位入賞するなど、日々の練習の成果を発揮した前中生が、さまざまな種目で大活躍を見せました。

まちの話題



子育て環境づくりに10周年

わらしゃんど おやこまつり



胆江地域子育てサポートネットワーク「わらしゃんど」（新田明美代表、会員20人）の10周年記念イベント「わらしゃんど おやこまつり」が7月5日、江刺総合コミュニティセンターで行われました。当日はお絵かきや紙コップのおもちゃ作り、水ヨーヨーすくい、フリーマーケットなど楽しいイベントが用意され、会場は元気に遊ぶ子どもたちの笑い声で包まれていました。

同会は、安心して子育てができる環境づくりを目的に、平成12年2月に発足。愛称の「わらしゃんど」は、子どもを指す方言「わらす」と「ランド」を融合させた造語で、県内の子育てネットワークの先駆けとなりました。

新田代表は『子どもたちの笑顔は母親の笑顔～』との思いから、活動を始めて10年が経った。今後もママがニコニコ育児ができるように頑張りたい」と決意を新たにしていました。



一生懸命風船を膨らませる親子

えさし

歓声あげつかみ捕りに挑戦

藤里寿集落でイワナのつかみ捕り

素早いイワナを捕まえ満足げな表情



中山間地域等直接支払い制度藤里寿集落（及川力男代表）と農地・水・環境保全向上対策藤里寿集落活動組織（及川弘代表）が主催した、川の中の生き物観察とイワナのつかみ捕り体験が8月1日、江刺区藤里字幕内地内の伊手川川岸で行われました。

当日は地元子ども会の児童や幼児、保護者、老人会員など約150人が参加。川岸をせき止めて行ったつかみ捕りでは、子どもたちが歓声を上げながら、放流された約470匹のイワナを追いかけました。つかみ捕り後は婦人会員らが焼き上げたイワナをほお張りながら、参加者みんなでレクリエーションを楽しみました。

山頂で親善のピッケル交換

第42回岩手・秋田親善登山

2年ぶりの開催となった第42回岩手・秋田親善登山が7月5日行われ、両県合わせて150人の参加者が焼石岳山頂で出会い、ピッケル交換などで親交を深めました。

胆沢第一小の児童や保護者らも含めた、当日の岩手側からの参加者は約70人ほど。皆で声を掛け合いながら昼ごろ山頂に到着し、秋田側からの登山者の到着を笑顔と拍手で迎えました。山頂で行われた式典では、西和賀町の代表者と横手市の代表者が親善の証である「ピッケル交換」を行い、参加者一同による万歳三唱の声が焼石岳にこだましました。

山頂で行われたピッケル交換



みずさわ

子どもの居場所これからも

ホワイトキャンパス10周年

決意新たにがっちり握手



放課後子ども教室として多くの子どもたちに利用されてきた「ホワイトキャンパス」の10周年記念式典が7月20日、水沢公園東側にある同施設で行われました。

ホワイトキャンパスは、子どもたちの自主性や社会性をはぐくむ場として平成11年にオープン。小学生から高校生までの異なる年齢の子どもたちが、放課後や週末にスポーツやゲーム、勉強などをしながら自由に過ごせる「子どもの居場所」として利用されています。式典には、利用者や卒業生、スタッフ、関係者ら約60人が参加。開設当時のビデオ観賞や手作りケーキの食事会などを通じて、楽しく10周年を祝いました。

外国出身の講談師も初登場

過去から未来へつなぐ道整備事業

衣川地区振興会（佐藤利男会長）が主催する「過去から未来へつなぐ道整備事業」が7月5日、衣川区古戸地内にある史跡一首坂で行われ、地元の道路整備ボランティアと衣川中の生徒40人が参加しました。

この催しは、平泉文化の礎を築いた安倍氏の伝説が残る史跡を整備しながら地元の歴史を学び、次世代へ伝えていくことを目的に行われたものです。参加者は一首坂とその周辺の草刈りなどに汗を流した後、奥州衣川青凜会の高橋厚会長の講談に耳を傾けました。続いて米国出身の英語指導助手コリン・チャールズさんが初挑戦。見事な講談に大きな拍手が送られました。

「武士道」を披露したコリンさん



ころもがわ